

令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業 の実施法人の選定について

厚生労働省

健康局 がん・疾病対策課

令和5年度当初予算額 2.8 億円 (2.0 億円) ※ () 内は前年度当初予算額

1 事業の目的

- 循環器病対策推進基本計画で、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して、総合的な取組を進めることとしているが、これまでに都道府県が医療計画などで実施している対策よりも幅広い内容であり、各医療施設で個々の取組はされているものの情報が行き渡っているとはいえず、全ての支援について、十分なレベルで提供することに対して課題がある。
- この取組を効果的に推進するため、専門的な知識を有し、地域の情報提供等の中心的な役割を担う医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、都道府県と連携しつつ、地域の医療機関と勉強会や支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化し、包括的な支援体制を構築することにより、地域全体の患者支援体制の充実を図ることを目的とする。

2 事業の概要・スキーム

<事業の概要> 都道府県の循環器病対策推進計画等を踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の内容に関する事業を行う。

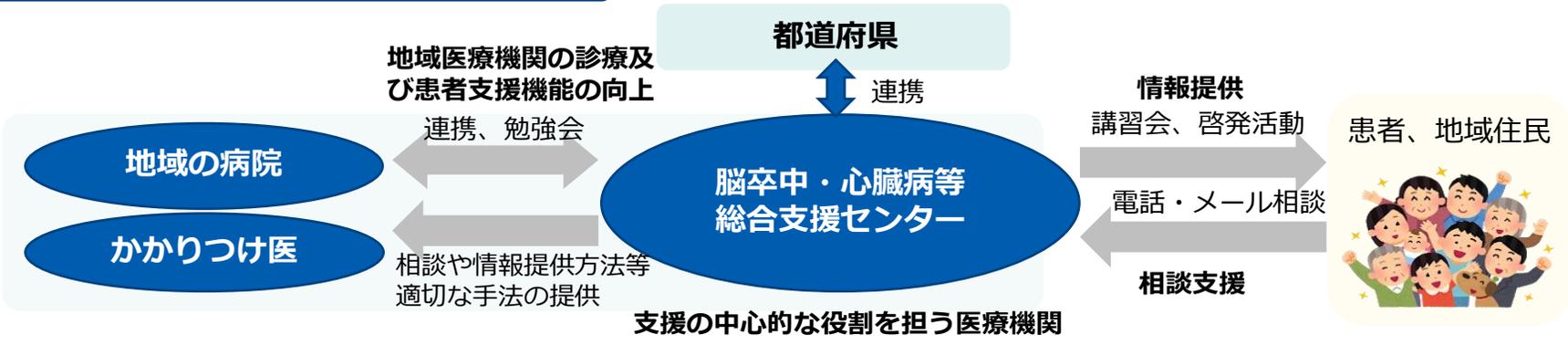
- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置（電話、メール相談を含む）
- ・地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
- ・地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- ・相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
- ・その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

<期待される効果>

- ・地域医療機関の診療及び患者支援機能の向上が可能となる
- ・国民がワンストップで必要な情報を得られるとともに、より効率的かつ質の高い支援が可能となる

脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討



3 実施主体等

- ◆実施主体：各都道府県において、脳卒中・心臓病等の循環器病に対する中心的な役割を担う医療機関
- ①先天性疾患に対する診療、外来リハビリテーション、緩和ケア等、循環器病に対する総合的な診療を行える施設であり、地域の病院、かかりつけ医などとも密接に連携が取れること②自治体との密な連携が取れ、循環器病の後遺症を有する者に対する支援及び治療と仕事の両立支援・就労支援を行っていること
- ◆箇所数：15箇所 ◆ 1箇所あたり：1,800万円程度 ◆ 補助率：定額（10/10相当） ◆ 事業実績：令和4年度応募数32病院、採択数12病院

第3回循環器病総合支援委員会 議事要旨

- 令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業の事業先を選定するため、令和5年3月30日に、第3回循環器病総合支援委員会を開催した。委員会の議事要旨を以下に示す。

○応募状況

応募期間（令和5年2月1日～2月28日）に、27医療機関（24都道府県）から応募があり、そのうち3県（静岡県、兵庫県、沖縄県）は、複数医療機関での応募であった。

○書面審査の結果

応募期間終了後、総合支援委員会による書面審査の結果を事務局で取りまとめ、都道府県ごとの評価点合計の平均及び項目ごとの評価点の平均を委員に提示した。

○モデル事業の実施法人の選定案

評価点合計の平均及び昨年度モデル事業を行った都道府県を含めた地理的要因など、全体のバランスを踏まえ、別表の15か所（16医療機関）を選定することで合意した。

○主なご意見

- 学会等での周知効果もあり、昨年度の応募書類と比較して全体的によくできた内容が多く、本モデル事業が全体にも良い影響を及ぼしているように感じられた。
- 本モデル事業の目的に沿って、総合支援センターが行政や関係機関と連携して、どのような取組を目指しているかの観点で評価した。
- 本モデル事業は行政との連携が重要であるため、特に行政との連携に関する審査項目の点数が高い都道府県は、結果として順位も高い傾向がみられた。
- 昨年度も応募した医療機関は、指摘事項に対応しており改善が見られた。

脳卒中・心臓病等総合支援センターのモデル事業 令和5年度実施法人の選定結果

- 公募要綱に基づき、27医療機関（24都道府県）からの応募があり、医療機関から提出された事業計画書等について、総合支援委員会による書面審査を行った。
- 書面審査の結果を取りまとめ、評価点及び昨年度の実績を含めた全体のバランスを考慮した上で、第3回循環器病総合支援委員会にて、下記の16医療機関（15府県）を選定した。

No	都道府県	医療機関名
1	青森県	国立大学法人 弘前大学医学部附属病院
2	岩手県	学校法人 岩手医科大学附属病院
3	埼玉県	学校法人 埼玉医科大学国際医療センター
4	神奈川県	東海大学医学部附属病院
5	石川県	国立大学法人 金沢大学附属病院
6	福井県	国立大学法人 福井大学医学部附属病院
7	長野県	国立大学法人 信州大学医学部附属病院
8	大阪府	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
9	兵庫県	国立大学法人 神戸大学医学部附属病院
		地方独立行政法人 神戸市民病院機構神戸市立医療センター中央市民病院
10	奈良県	公立大学法人 奈良県立医科大学附属病院
11	鳥取県	国立大学法人 鳥取大学医学部附属病院
12	広島県	国立大学法人 広島大学 広島大学病院
13	愛媛県	愛媛大学医学部附属病院
14	佐賀県	佐賀大学医学部附属病院
15	長崎県	国立大学法人 長崎大学病院

モデル事業に選定された都道府県の分布

- 令和4年度と令和5年度のモデル事業に選定された都道府県の分布図を、以下に示す。

- 令和4年度事業の選定先（10府県）
- 令和5年度事業の選定先（15府県）

